

第3章

産業支援センターの取組目標、施策方針

松江市のものづくり産業が目指すべき目標と活動指針をものづくり企業の皆様方と共有できるよう、分かりやすくシンプルに定め、企業の皆様方と産業支援センターが一体となって取組みます。

I 産業支援センターの取組目標

目 標:アフターコロナを見据えた「変化に強い企業づくり」

本市事業者の9割以上を占める中小企業・小規模企業は、多くの雇用の場を創出するなどして、地域経済ひいては地域社会を支えています。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、多くの市内製造業が厳しい経営状況にあります。中小企業庁が令和3年4月に発表した「中小企業白書・小規模企業白書」によると、中小企業の財務状況は、日頃から事業環境の変化に合わせた新製品開発や新事業分野への進出など、柔軟な対応ができている企業ほど売上高の回復が早いとされています。

本市でも、こうした事業環境の変化に合わせた柔軟な取組み支援を強化し、「アフターコロナを見据えた『変化に強い企業づくり』」を「第4期アクションプラン」の目標として、具体的な支援を実施していきます。

TOPICS



有限会社ヤマヲ水産

あなご（島根県産）まぜごはんの素

- ◆特性タレとあなごを、ごはんと混ぜるだけで簡単・おいしい『あなごまぜごはん』のできあがり！
- ◆山陰沖で獲れたあなごを一匹づつ開いて内臓を取り除き、冷風乾燥機で乾燥後、真空パックし、高温・高圧処理をしました。骨までまるごとおいしく召し上がれます。

松江ものづくり, netニュース

II 産業支援センターの施策指針

指針1:生産性向上・新市場開拓

製造業に関しては、コロナ禍により令和2(2020)年5月以降、売上の減少が顕在化し収支が悪化したものの、その後、海外経済や国内設備投資の回復により徐々に持ち直す傾向にあります。しかし令和3(2021)年12月から令和4(2022)年1月の国や県、日銀の月次経済動向によると、市内製造業は新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、持ち直しの動きが見られるものの、部品や原材料の供給不足や価格上昇などによる影響が広がり、持ち直しの動きに足踏み感がうかがわれる状況にあります。

こうした喫緊の課題への対策として、コロナ禍で営業活動が制限される中であっても、売上の回復を支援する生産性向上・新市場開拓のための施策を実施してまいります。

指針2:新ビジネス創出

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、リスクの分散等を通じた景気に左右されにくい経営体質づくりが経営課題の上位に挙げられます。

本市ものづくり企業の皆様へのアンケートでは、本市が実施すべき支援策として「新商品・新技術開発」の需要が高まっています。

日頃から事業環境の変化に強い経営体質を目指すため、新ビジネス創出に関する取組を柔軟に支援してまいります。

指針3:小規模事業者への事業継続支援

令和3(2021)年4月に中小企業庁が発表した「中小企業白書・小規模企業白書」では、中小企業(小規模企業)は感染症流行など急激な外部環境の変化に弱く、将来に向けた経営戦略の立案ときめ細やかな支援を必要としています。

産業支援センターは自社の強みを生かし前向きな事業運営に取り組む小規模企業に対して、要望の強い設備導入の支援などを通じて、限られた経営資源の有効活用を促し、小規模企業ならではの多様なニーズに対応した事業を継続するための支援策を実施してまいります。